

5 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	CL:神戸
		報告日	6/9		
山 域	北アルプス	山行日	15 年 5 月 23 日 (土) -24 (日)		
山 名	毛勝山				
山行目的	200 名山探訪		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図: 毛勝山

5/23 晴れ
6:45 自宅発 13:15 片貝
林道車止め着(426m)
13:20 スタート
14:20 片貝山荘着(690m)
15:20~16:20 付近散策
18:00 就寝

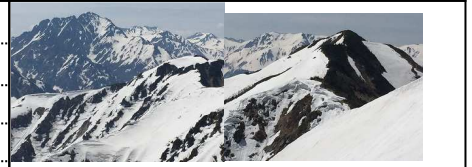
5/24 晴れ
2:50 起床 3:45 山荘発
4:15 ウェア調整
4:25 堰堤渡る
5:15 板菱で休憩ヘルメット
5:45-50 大明神沢出合
を毛勝谷へ(1234m)
6:20-30 三又で休憩。ス
ーシュー履く(1500m)
7: 55-8: 05 休憩
(2060m)
8: 35-8: 50 ボーサマ

谷、アイゼン履き替え
(2220m)
9:15 ボーサマのコル着
(2360m)
9:30 毛勝山山頂(2414m)
9:45-55 コルで休憩
10:15 毛勝山南峰經由コル
発
11:00-15 休憩アイゼン外
す(1500m)
12:50 片貝山荘着(690m)
13:00 駐車場着

板菱のデブリ

〈山行報告〉 職場に「毛勝マスター」なる人が出向されて、この時期がベストと伺い、以前から興味があった毛勝山を計画した。2004 年デンソー山岳部の記録やインターネットにも不安を掻き立てる記事多数。自分の実力でどこまでいけるか試すこととした。土曜に片貝山荘に着くと前日泊の方が既に下山されて、最後の急勾配(ボーサマ谷)は 9 時でも雪がシャーベットと言われたので自分も早出することにした。心配していた土砂崩れや雪崩は遭遇しなかった。板敷のデブリは想像以上で雪の上に更に土砂、倒木が折り重なる状態だった。早々にそこを後にして大明神沢出合を左に毛勝谷に入る。開けた谷だが冷蔵庫より大きな落石が数箇所がつている。6 時過ぎでも谷にはまだ日は射してこない。つぼ足がスリッパになったので、スノーシューに履き替えるとグリップ良く、快調に高度を稼げた。8 時半頃に雪面に日差しが届くようになるのと雪が緩んで、またさらに勾配が急になったのでとうとうアイゼンに履き替え。下を見ると三の又に 2 名の登山者が見えた。すぐにコルに到着。ちょっとだけ藪を潜ると劔岳の威容が望めた。すばらしい眺めに暫し写真撮影タイム。稜線を左に行くと雪が消えた頂上に到着。北は魚津の町と日本海。東は後立山連峰、西は毛勝三山の釜谷山、猫又山が望める。時間的にまだ余裕なので毛勝南峰に登り、縦走路の確認をしに行った。ピークと思しき場所に緑布はあったが、釜谷山に向かう道はなく藪に阻まれた。釜谷山の雪庇が崩れているのを遠望し、これは行けないと判断した。コルの藪を抜け下山始めると 2 名の後続(スキーマー)がいた。暫し会話し、下山を始める。登

りは気にならず直登したが、下りは結構な勾配で 2000m 位までジグザグ歩行。途中足元が崩れること数回。未熟モノです。結局この日は自分含め登山 3 名、スキー 3 名(最後の方はヤマレコにも投稿)、前日にコルで幕営した 4 人パーティを加えて 10 名だった。(前日は車 12 台)



毛勝三山(右から釜谷山猫又山)と劔岳

確認
(リーダー)
神戸
15/05/25
戸

作成
(報告者)
神戸
15/05/25
戸

〈リーダー所見〉 地図で見た通りの壮大な雪渓が続き、最後に北アルプスの重鎮が望めるという格別な山だった。コースタイムはたまたま雪の状態が良い時間に道具を使った為で先人には及ばない。下りはもっと安全に歩けたと思うが経験不足。またこういう赤テープが少なく人の入らない山は自分の好みである。ここを来年はスキーで来られたらと思う。



鹿島槍が遠くに見える毛勝頂上